はだの
令和7年1月 市制施行70周年

議会だより

第255号
令和7年（2025年）2月9日（日）
発行：秦野市議会　編集：議会報編集委員会
〒257−8501 神奈川県秦野市桜町一丁目３番２号
☎0463-82-9652　秦野市議会　検索
こちらからもアクセスできます

主な内容

◆議案審議　1・5面
◆一般質問　2・3・4・5面
◆議会報告会・意見交換会　6・7面
◆審議結果一覧表　8面

政策提言に向け各常任委員会で議会報告会を開催

総務、文教福祉、環境都市の各常任委員会では、通年会期制を活用し、政策提言に向け、毎月、活動しています。今回、政策提言に向け各常任委員会で議会報告会を開催しました。（詳細は、6面、7面をご覧ください。）

青空と丹沢の山並みを背に一斉放水で紅を演出しています（撮影者：栗原正行さん）

第4回（12月）定例月会議

令和6年11月27日から12月16日までの20日間の日程で開催された第4回（12月）定例月会議の審議結果などをお知らせします。

議案審議

（議案審議は5面にも掲載）

物価高騰対策として農業者や小・中学校給食における食材料費高騰分を支援するための補正予算を可決

議案第60号　令和6年度秦野市一般会計補正予算（第8号）を定めることについて

▼提案理由

歳入歳出それぞれ8億2844万2千円を追加するとともに、繰越明許費、債務負担行為および地方債を追加するもの。

▼補正予算の概要

○施設園芸等燃油価格高騰対策事業費および畜産業物価高騰対策事業費

燃油価格や飼料価格の高騰の影響を受けている農業者に対する支援のため、それぞれ543万円、1512万4千円を追加するもの。

○小学校給食物価高騰支援事業費および中学校給食物価高騰支援事業費

食材料費高騰の影響により、当初予算で計上した物価高騰相当分を上回っていることから、それぞれ1143万4千円、744万2千円を追加するもの。

○農地災害復旧費、農道災害復旧費および市道災害復旧費

令和6年8月の台風第10号に伴う大雨により、甚大な被害を受けた農地、農道、市道の災害復旧のため、それぞれ1461万9千円、1467万4千円、4070万円を追加するもの。

▼付託委員会

予算決算常任委員会

▼委員会での主な質疑

問　**農業者は施設園芸と畜産だけではない中、施設園芸と畜産に限定して補助する理由はどのようか。**

答　施設園芸では農業経営経費に占める燃油の経費割合が約20％から30％であり、畜産業では経営経費に占める飼料の経費割合が約50％以上と高いことを踏まえ、特に経営が厳しい状況にある施設園芸農業者および畜産農家に対する支援をすることとしたものである。

里山ふれあいセンターの指定管理者を指定するための議案を可決

議案第55号　指定管理者の指定について

▼提案理由

秦野市里山ふれあいセンターについて、指定期間の満了に伴い、秦野市森林組合を指定管理者に指定するため、議会の議決を求めるもの。

なお、指定期間は、令和7年4月1日から12年3月31日までの5年間とするもの。

▼委員会での主な質疑

問　**指定管理者を選定するに当たり、公募をしたとのことだが、周知方法と期間はどのようか。また、応募が1者のみであったが、事業者などの幅広い参入の機会を確保するためにも、次回公募をする際には、募集資格の見直しを検討すべきと考えるがどうか。**

答　公募開始の8月1日に先立ち7月15日号の広報はだのと市のホームページで周知した。また、次回公募するタイミングの社会情勢などを多角的に捉え、多くの事業者が参入できるよう、募集要項の在り方を検討していく。

▼採決の結果

委員会　原案可決（賛成全員）
本会議　原案可決（賛成多数）

問　**学校給食に使用している食材料費のうち、上昇分が大きいものはどのようか。**

答　神奈川県学校給食会から購入している価格で、令和4年度と6年度を比較すると、米が10キロ当たり972円の増で、28・1％上昇しており、また牛乳は1本当たり8・6円の増で、15・9％上昇している。

問　**市道の復旧工事に関して、工事が完了する時期はどのようか。**

答　市道7号線と市道名古木42号線の2路線の工事を行うが、2路線とも6年内に執行し、市道7号線は7年6月上旬まで、市道名古木42号線は7年5月中旬までの工事期間を予定している。

▼採決の結果

委員会　原案可決（賛成多数）
本会議　原案可決（賛成多数）

市道名古木42号線の被害状況

議会だよりへの
御意見
募集中

一般質問

一般質問は、12月９日、10日、11日の３日間で行われ、20人の議員が登壇しました。

一般質問は、２面から５面に掲載しています。（質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。）

各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。（通信費は利用者の負担となります。）

補助金増額で1歳児の保育士平均29人増える

無所属　吉村　慶一

一　私立保育園などに対する補助について

問　令和５年度、１歳児保育の保育士配置増を目的として、私立保育園などへの補助制度を改革したが、６年度の補助金の増額、保育士の増員数はどのようか。また本市の一時預かり保育は、大半が公立こども園によるものであるが、その実態と理由はどうか。

答　約5300万円の増額に対し、６年４月から６月までの平均で28・７人増員された。また保育所などに入所していない乳幼児を、保育困難時に預かる一時預かり保育の総数は、５年度の延べ人数で4080人、うち８割が公立園の利用である。民間園の利用が少ないのは、保育士と専用保育スペースの確保の困難が要因と考える。

意見　保育に要する市負担額は５年度決算で、公立園約10億円、私立園約８・８億円、延べ在園児数は、公立8281人、私立２万6745人で比率は１対３・２。園児１人当たりの市の年間負担額は、私立約39万円、公立約144万円の１対３・７である。公立こども園を１園減らし２億円の財源を生みだし、私立園への補助を増額すれば、一時預かり保育や、特別な支援を必要とする園児の保育を充実するための保育士の確保などは可能ではないか。公立園の保育士の雇用問題は残るが、強固な政治的意思の下、配置転換などを工夫すれば解決できると考える。

インクルーシブな視点でのまちづくりを要望する

ともにつくる　田中　めぐみ

一　インクルーシブな視点でのまちづくりについて

問　県立秦野戸川公園と本町地区で計画を進めている多世代交流拠点施設にインクルーシブ遊具の導入を検討してはどうか。また、本市の福祉施策の中にインクルーシブの視点を打ち出すとともに、総合計画後期基本計画の策定に庁内横断的な体制を組織してはどうか。

インクルーシブ遊具の導入検討を

答　県はインクルーシブな公園づくりに取り組んでおり、機会を捉え、インクルーシブ遊具の導入を進めていく方針である。実際に市内に導入する場合は、課題などを整理し、関係部局と連携しながら進めていく。福祉の観点では、今後策定する諸計画において、インクルーシブな視点での施策展開を検討し、総合計画の策定に当たっても、庁内横断的な組織体制の構築、ひいてはリーディングプロジェクトへの位置付けも検討する。

二　支援級の運営について

問　会計年度任用職員である特別支援学級の介助員が教室にいる時間が減っている可能性がある。介助員などを増員する必要があると考えるが、どうか。

答　特別支援学級介助員の研修などの充実によるスキルアップや通級指導教室の拡充など、効果的な運用に努めている。今後はインクルーシブ教育の実現を図るために、教育支援助手と特別支援学級介助員を統合し、学校全体の枠組みの中で運用することも検討している。

市民力による地域活性化対策への取り組みでにぎわいの持続するまちの実現へ

創和・市民　福森　真司

一　大規模災害の備えについて

問　大規模災害の備えに対しての啓発活動はどのようか。

答　激甚化する自然災害に対し、地域防災力の向上を図ることを目的に、自治会長や自主防災会長、防災指導員などを対象に毎年さまざまなテーマで研修会、防災講演会を実施するとともに、民生委員児童委員協議会、長寿会などへの防災講習会、さらにこども園や幼稚園の園児、保護者を対象とした幼児防災教育を実施している。

財源を生み出し、私立園への補助増額を

要望　地域特有の危険性や自らの命は自らが守るといった啓発活動の継続は、自助・共助の大切さを認識するきっかけになると考える。災害に対する危機意識の向上に努めてほしい。

二　秦野のにぎわい創造について

問　地域資源を活用したにぎわいの拠点づくりへの取り組みはどのようか。

答　地域住民が歓迎している歩行者天国などの実施に向け、自治会をはじめ、まちづくりに関心のある団体・企業など、さまざまな立場の人とアイデアを出し合い、継続的な取り組みとして開催できるよう市との連携を明確にしたい。

災害に備えた啓発活動の継続を

要望　中心市街地といわれる秦野駅周辺がにぎわいの拠点になることが、新たなにぎわいの出発点になると考える。市民力を結集し、行政と連携して、にぎわいが持続するまちの実現に向けて取り組んでほしい。

スポーツビレッジ周辺土地利用早期に余裕ある配置を

志政会　高橋　文雄

一　地球温暖化対策について

問　令和６年の平均気温は更新されると考えるが、農畜産業や健康への対策はどのようか。

答　省エネ・創エネの普及を推進するとともに、農業や健康など、想定する分野ごとに対策を定め、温暖化対策を推進している。

要望　子どもや高齢者などへ細やかな対応を行い、農業者には新技術による対策を推奨してほしい。

二　はだのスポーツビレッジ周辺の土地利用について

問　渋沢インターチェンジ（仮称）周辺に主要施設が混在している。余裕ある配置とアクセス道路の早期整備が必要と考えるがどうか。

答　本市の都市マスタープランで環境共生土地利用ゾーンと位置付け、環境への負荷が少なく、共生できる土地利用を検討している。中井町、大井町、松田町との協議会でも検討を進め、令和７年度ごろには構想の策定を考えている。

要望　①各施設は余裕のある配置を、②アクセス道路は早期確定を、③栃窪・小原地区は生活ゾーンでもあるためその対応もしてほしい。

三　下水汚泥の活用について

問　国は汚泥の肥料化を努力義務としているが、令和５年度の肥料化実績はどのようか。

答　脱水汚泥、乾燥汚泥の約70％を肥料化しているが、県外への搬出が多く、運搬費用が高い。

意見　落葉、剪定枝、竹材なども活用し堆肥化すべきである。

農業者には新技術による対策の推奨を

市民に事実を周知せよ

志政会　中村　知也

一　予防接種について

問　新型コロナワクチンの現時点の国の健康被害救済制度の認定件数は、8501件で、死亡認定は915件である。本市の申請状況に変化はないか。また、名古屋大学名誉教授小島勢二氏の調査によると、インフルエンザワクチンと比較して、新型コロナワクチンの接種で死亡する確率は50倍との調査があるが、本市のインフルエンザワクチン予防接種による過去の健康被害の発生件数はどのようか。

答　令和４年度から現時点までの間に申請件数12件、認定件数９件、否認１件、認定待ち２件、相談中３件のうち、１件が調査委員会に進んだ。本市の高齢者インフルエンザワクチン予防接種の健康被害はこれまで申請、認定共にない。

事実に基づく情報の周知を

問　早ければ７年の秋にはインフルエンザmRNAワクチンが実用化される。新型コロナワクチンで多くの健康被害が起きていることを知る国民の数は増えたが、多くの市民はmRNAワクチンと今までのワクチンとの違いを理解していないことが問題である。後悔のない選択ができるよう、手助けをする必要があると思うが、インフォームドコンセントの取り組み状況と効果はどのようか。

答　各医療機関に呼びかけ、被接種者に十分な説明を行い、理解してもらった上で接種している。

要望　大阪府泉大津市のように事実に基づく情報を周知してほしい。

議長の主な公務（12月～1月）

より詳細な公務日程は、市議会ホームページで公開しています。

横山むらさき 議長

○12月

1日（日）第20回はだの丹沢水無川マラソン大会開会式
14日（土）第15回親子川柳大会表彰式
17日（火）第77回秦野たばこ祭第２回実行委員会
24日（火）第40回全国削ろう会秦野大会招致・実行委員会第５回実行委員会

○1月

8日（水）令和７年秦野市新年賀詞交歓会
11日（土）市制施行70周年記念・令和７年秦野市消防出初式
12日（日）第70回秦野市駅伝競走大会開会式
13日（月）令和７年秦野市はたちのつどい
18日（土）令和６年度秦野市教育功労者等表彰式
令和６年度はだのっ子アワード表彰式
25日（土）秦野市・伊勢原市共同消防指令センター開所式

会派の表記について　…「創和会・市民クラブ」は、略称として「創和・市民」、「ともにつくる秦野」は、略称として「ともにつくる」と表記しています。

人体に有害な有機フッ素化合物、汚染源の究明と汚染対策を

ともにつくる　古木　勝久

一　名水を通じた水環境の取組について

問　令和４年11月に本市の地下水から暫定目標値を超えた有機フッ素化合物（ＰＦＡＳ（ピーファス））が検出されたと報道があった。発生から２年が経過したが、いまだに汚染の発生源が究明されていない。全庁的な取り組みが必要ではないか。

答　継続的な監視モニタリングによる水質検査の結果を定期的に公表するなど、正確な情報発信をすることが市民の安全・安心につながるものと考えている。

意見　７年11月８日に、本市で「名水サミットｉｎはだの」が開催される。これを契機に、市民と一緒に全庁的な取り組みで良好な水環境をつくっていくべきである。

二　広報広聴について

問　「秦野市広報広聴規則」では「広報はだの」の配布先は「市内の全世帯」とあるが、令和６年10月１日の本市の世帯数は約７万３千世帯、「広報はだの」の配布数が約３万９千部で全体の53％である。東、西、南、北、本町、上、大根、鶴巻の８地区で、地区ごとの配布数を把握しているか。

答　全体の部数は把握しているが、個別地区の配布数は把握していない。今後も一人でも多くの市民に届けられるよう検討していく。将来的にはデジタル版「広報はだの」やホームページを主軸として、補完する形で紙の広報紙を届けていくことも考えている。

未来に伝えたい“おいしい秦野の水”

薬物乱用・闇バイトの阻止と防犯灯とベンチで安心な街を

創和・市民　阿蘇　佳一

一　安全で安心して暮らせるまちについて

問　①大麻の検挙者は、６７０３人で73％が30歳未満、市販薬の乱用経験がある高校生は約60人に１人だが対策は、②若者が関わっている闇バイトの抑制は、どうか。

答　①薬物乱用の恐ろしさを早期に認識してもらうよう取り組む。②市民の安全意識の高揚と、警察や防犯団体との連携強化を図る。

二　子どもの命と未来について

問　①本市の不登校の状況と対応は、②通学路の整備要望に対する対応は、③年間６億円かかるが学校給食を段階的にでも無償化してほしいと考えるが、どうか。

答　①令和５年度は、小学生１８２人、中学生が１８７人で増加傾向にあるため、不登校対策の戦略の見直しを図った。②関係各課で連携しており、３年度１２６件、４年度96件、５年度50件と減少し、改善が進んでいる。③物価高騰など社会変化も注視しながら、総合的に判断していきたい。

三　高齢者の生きがいについて

問　秦野あづまライオンズクラブは鶴巻温泉駅・東海大学前駅に計６脚ベンチを寄付したが、「みんなのベンチプロジェクト」の実績や今後の取り組みはどうか。

答　令和４年度、大根地区に３脚、５年度、下大槻団地に２脚設置し、今後も高齢者などが安心して外出できるよう、社会福祉協議会やボランティアと連携して取り組む。

安全で安心して暮らせるまちづくりを

学校図書館と子どもたちの未来を守れ

ともにつくる　原　聡

一　消防施設について

問　市内にある消防署本署と４つの分署の維持管理の状況と、令和７年４月１日から運用が始まる秦野市・伊勢原市共同消防指令センターの倉庫壁面の雨漏りの修繕状況はどのようか。

答　市内の消防施設は公共施設保全計画に基づき整備を行い、不具合などには早期発見・早期修繕を心掛けている。雨漏りは現在改修方法の調整中で、７年１月の開所式を万全な状態で迎えられるよう進めている。

要望　改修後の確認試験などの結果を議会に報告してほしい。

二　学校図書館の未来について（その２）

問　※ＮＩＥ（ニー）や電子書籍の導入、読書量の増加に向けた取り組みはどのようか。

答　ＮＩＥ教育は現在市内の小学校２校と中学校２校が取り組んでいる。電子書籍は令和５年度にはモデル校７校に導入し、６年度には15校に拡大し社会教育との協働も図っている。読書量は、全国学力・学習状況調査の結果、読書を全くしないと答えた小学６年生は、３年度の29・５％から２年間で４・１ポイント減り大きく改善した。

意見　学校司書の待遇を改善し、司書教諭との連携を強化することで、経済格差を越えた公平な読書活動や学力向上が図れる。そのための学校図書館支援センターが必要である。

学校司書の待遇改善と司書教諭との連携強化を

誰もが健康で共に支え合うまちづくりを

公明党　間地　薫

一　子育て世代の支援について

問　子どもの見守りと居場所づくりを組み合わることで、多世代コミュニティーができると考えるが、見解はどうか。

答　児童ホームの拡充や学校図書室の地域開放など、運用面の創出が重要であると考えている。

二　高齢者施策について

問　聞こえに不安のある人向けに「軟骨伝導イヤホン」を窓口に導入してはどうか。また、聞こえにくさは自分でも気付きづらいため、健康イベントなどでヒアリングフレイルチェックを取り入れるべきと思うがどうか。

答　窓口サービスの向上につながると考えるため、他市の運用や効果を調査し、安心して相談できる環境整備に向けて検討する。難聴は、生活の質の低下や認知機能の悪化に影響を与えるといわれているため、早期発見・早期受診や必要な支援につなげる予防に取り組んでいく。

三　環境問題への取組について

問　年間１万３千トンが使用されるおくすりシートを回収する自治体があるが、リサイクル意識向上のため、本市で実施してはどうか。

答　本市で、おくすりシートの回収は容器包装プラスチックとして、資源化が図られているため、回収の予定はないが、リサイクル意識の向上は重要課題であるため、ごみの分別や資源化の徹底を継続的に周知していく。

聞こえに不安のある人向けに軟骨伝導イヤホンの導入を

児童・生徒の視点に立った不登校対策を

創和・市民　八尋　伸二

一　不登校児童生徒の対応について

問　本市の不登校児童生徒の増減状況はどのようか。

答　令和５年度は、小学校１８２人、中学校１８７人と全国と同様の状況となっている。特に元年度比で３倍以上となった小学校の増加率は大きな課題であると判断している。さらなる対策強化を図っていきたい。

問　「はだのっ子ｅスクール」とは、どのようなものか。

答　秦野ｅスポーツ協会の支援を得て６年８月から開設し、児童・生徒に親和性の高いゲームやプログラミングを通じてコミュニケーションの構築を目指す取り組みである。現在８人の入室希望があり、訪問型個別支援教室「つばさ」や教育支援教室「いずみ」へつなげられるよう支援を重ねている。

問　市内の民間フリースクールは１つと少ないが、市内にできない理由はどのようか。

答　これまでの状況や環境があり、受け入れる基盤がなかったのではないかと考えており、これからは多くなっていくのではないかと考えている。

要望　「はだのＥ－Ｌａｂ」をボランティアなどの協力を得て、児童・生徒たちが入りやすいようにしてほしい。また、今回減少した中学生のように小学生の不登校児童の数も減るように努力を続けてほしい。

児童・生徒に寄り添った支援を

議会の動向

○11月
- 15日（金）・代表者会議
  - ・議員連絡会
  - ・常任委員会（総務・文教福祉・環境都市）
- 22日（金）・代表者会議
  - ・議会運営委員会
  - ・議会報編集委員会
- 27日（水）・第４回定例月会議開会
  - ・議会運営委員会
- 29日（金）・本会議（議案審議）
  - ・議会運営委員会

○12月
- ３日（火）・総務常任委員会
  - ・予算決算常任委員会（総務分科会）
- ４日（水）・文教福祉常任委員会
  - ・予算決算常任委員会（文教福祉分科会）
- ５日（木）・環境都市常任委員会
  - ・予算決算常任委員会（環境都市分科会）
- ６日（金）・代表者会議
  - ・議会運営委員会
  - ・議会報編集委員会
- ９日（月）・本会議（一般質問）
- 10日（火）・本会議（一般質問）
- 11日（水）・本会議（一般質問）
- 16日（月）・予算決算常任委員会
  - ・第４回定例月会議閉会
  - ・議会運営委員会
  - ・議会報編集委員会
- 26日（木）・議会運営委員会
  - ・第３回臨時会議
  - ・臨時議員連絡会

○１月
- 16日（木）・代表者会議
  - ・議員連絡会
  - ・議会運営委員会
  - ・常任委員会（総務・文教福祉・環境都市）
- 30日（木）・代表者会議
  - ・議会報編集委員会
  - ・議会運営委員会

用語解説　※ NIE…学校などの教育現場で新聞を教材として活用すること。

一般質問

（一般質問は2面・3面・5面にも掲載）

セーフティネット法を活かした住宅困窮者の住宅確保を

創和・市民　横溝　泰世

一　生活困窮者に対応する市営住宅の在り方について

問　戦後復興の住宅不足解消や住宅困窮者への対応など、時代の要請に応え、量的な住宅の確保を目的に公営や公団による住宅建設を進めてきた。その後、高度経済成長期が過ぎ、住宅市場の需要と供給のバランスが逆転し、空き家の増加からも明白なとおり供給が過剰な状況にある。一方、高齢単身者、障がい者、経済的な生活困窮者、近年ではＤＶ被害者や外国籍市民などの住宅困窮は続いており、公営住宅の需要は依然として高い水準にある。これまでも対策を指摘してきたが、住宅セーフティネット法の改正により、居住支援協議会の設置が義務化されたので、これまで以上に都市部と福祉部が連携し、住宅困窮者が路頭に迷わない「心の安定剤」となる住宅環境づくりをしてほしいがどうか。

答　住宅の過剰供給時代の中、生活困窮者の中に住宅困窮者がいることは理解している。法改正により両部の連携を強化するとともに、令和７年度は県指定の支援法人の協力を得ながら居住支援協議会の設置を検討し、住宅困窮者に寄り添った支援を行っていく。

要望　居住支援協議会を早期に設置するとともに、入居要件の緩和やエレベーター設置要件を見直し、総合計画後期基本計画に反映して、誰もが安心して暮らすことができる環境づくりに努めてほしい。

誰もが安心して暮らすことができる環境づくりを

子どもに優しい発達支援、地域ぐるみの鳥獣被害対策、戸川に優良企業誘致を

創和・市民　小山田　良弘

一　子どもの発達支援について

問　平塚市は、独自で５歳児健診を行っているが、本市はどうか。

答　国のマニュアルでアンケート形式も示されているので、さまざまな方法を検討し進めていきたい。

問　関係者間で医療情報などの共有をすべきであるが、どうか。

答　平塚市と同様にサポートファイルを作成し、共有している。

問　障害の有無に関わらず、子どもに関する相談や支援などの窓口を一本化してほしいがどうか。

答　利用しやすく、最適で効果的な移管の可能性を検討していく。

要望　子どもに対してきめ細かく、優しい取り組みを進めてほしい。

二　農業支援について

問　鳥獣被害対策は、どのようか。

答　捕獲、防除、環境整備の３つの取り組みを総合的に進めている。

要望　地域の安全性確保の観点から、里地里山整備などを地域の課題と捉え取り組みを進めてほしい。

三　戸川土地区画整理事業と関連事業について

問　現場事務所ができ工事が始まるが、通学路の安全対策はどうか。

答　朝の通学時間帯の車両通行は行わず、市道51号線拡幅工事では、歩行者専用の迂回路を設置する。

問　企業誘致に期待することや、将来のビジョンはどのようか。

答　雇用の創出や地域経済の活性化、災害時の支援などに期待し、生産工場などの工場見学や地域交流ができる優良企業を誘致したい。

子どもに関する相談や支援などの窓口一本化を

市民の幸福度が増すことを望む

創和・市民　大野　祐司

一　地域幸福度（Ｗｅｌｌ Ｂｅｉｎｇ）指標の利活用について

問　世界保健機関（ＷＨＯ）が、「個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される」と紹介しているウェルビーイングは、「主観的ウェルビーイング」と「客観的ウェルビーイング」の２種類に分けられる。教育面や企業活動をはじめ、政府においても各省庁が各分野で国民のウェルビーイングを定期的に測定し、目標と照らし合わせて取り組みを推進するなど、多方面で利活用され、ポストＳＤＧｓとも言われている。その考え方や指標を総合計画に位置付け、政策立案に活用する考えはないか。また職員研修を実施することで、理解を深められると思うがどうか。

答　ウェルビーイングの考え方に基づく指標の設定は、既に施策に活用している他自治体での評価や課題なども調査しながら検討していく。総合計画後期基本計画は、はだの２０３０プランの集大成として、本市都市像の実現に向け、実効性のある計画となるよう、全庁を挙げて取り組んでいく。また、職員研修については、職員が学ぶ機会をつくることは非常に重要であると考えるので、他組織の状況の把握に努め、政策形成研修でウェルビーイングの概念を取り入れるなど、研修プログラムの在り方について検討する。

ウェルビーイング指標の利活用を

秦野市の魅力の効率的な発信を

公　明党　中村　英仁

一　本市の本物の魅力について

問　本市は丹沢の山々に囲まれ、自然豊かで暮らしやすい街だと思うが、市民にも市外の人々にも秦野の魅力を伝えきれていないと感じる。シンプルなブランドイメージを確立させ、皆で共有し、周知していくことが必要だと考えるが、どうか。

答　秦野らしさを明確に打ち出し、ブランドイメージを確立することが重要だと考える。秦野といえば表丹沢というイメージを持ってもらうために、「ＯＭＯＴＡＮ」ロゴマークを作成し、情報発信に取り組んでいる。「ＯＭＯＴＡＮ」の認知度向上と、ブランド化を確立し、秦野といえば表丹沢としていきたいと考えている。

問　本市の魅力の一つである、日本一の水を観光の目玉としてＰＲするために、新東名高速道路秦野丹沢ＳＡでの活用や、ウォーターサーバーを設置し、観光客に利用してもらうなどの工夫が必要だと考えるが、どうか。

答　新東名高速道路秦野丹沢ＳＡへの親水施設の設置や、名水スポットの整備、ウォーターサーバーの設置を行うなど、ストーリー性を重視した施策を検討している。

要望　本市の良さを市民や市外の人々にもっと知ってもらうために「ＯＭＯＴＡＮ」＝秦野となるよう、関係各所と連携して統一的なＰＲを行い、観光や移住に結び付けてほしい。

「OMOTAN」＝秦野となるよう統一的なＰＲを

「誰一人取り残さない教育」の実現を

ともにつくる　桑原　昌之

一　不登校児童生徒の現状と課題について

問　令和５年度の不登校児童生徒の現状はどのようか。

答　小学校では４年度と比較し、20・５％増の１８２人、中学校では５・１％減の１８７人となり、小・中学校の合計では６・０％増の３６９人であった。

問　不登校児童生徒に対する取り組みはどのようか。

答　これまでも教育支援教室「いずみ」や、学校内外の関係機関などから支援を受けていない児童・生徒が大きな課題であると判断し、訪問型個別支援教室「つばさ」で支援してきた。さらに、新たな学びの場として、６年８月にはオンラインを活用した「はだのっ子ｅスクール」を開設した。今後も、児童・生徒や保護者の声に耳を傾ける取り組みを進めていく。

問　新たな学びのスタイルの進捗はどのようか。

答　「学びの基盤プロジェクトは最大の不登校対策である」と位置付け、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、各校と協働して取り組んでいる。

要望　早期に全ての子どもを包摂する学校へ転換すること。市費による非常勤講師などを採用し、教職員の人的充実を図ること。こども健康部と教育部の連携強化を図り「誰一人取り残さない教育」の実現に向けて取り組んでほしい。

こども健康部と教育部の連携強化を

ＯＭＯＴＡＮコインのちょっとした取扱説明書

創和・市民　大塚　毅

一　ＯＭＯＴＡＮコインについて

問　導入の狙いはどのようか。

答　市民は「市内で買えるものは市内で買う」、事業者は「魅力ある商品やサービスを提供する」、行政はＯＭＯＴＡＮコインを運営し、三者が一体となって地域経済の好循環を促していく。

問　決算額のＫＰＩ（評価指標）を個店、大型店で区別して目標設定することは可能か。

答　参加店舗のデータを蓄積し、分析後に、関係機関と検討する。

問　利用状況をどのように分析し、どの程度の公開が可能か。

答　利用者の購買動向や、店舗の販売状況を分析し、公開の方法は商業者と議論していく。

問　事業の継続、廃止の判断基準の設定はどのようか。

答　ＫＰＩを基準に総合的に判断し、市も一定の負担をすることで、継続的な事業運営が可能となる。

要望　答弁をまとめると、令和６年12月９日の時点では、ユーザー約１万７千人、参加店舗４７２軒、決算額１・３億円。ポイントバックキャンペーンの流通総額は最大で８億５５００万円。個店で３億１５００万円、大型店で５億４千万円となる。店舗手数料を他のバーコード決済と比較すると、個店は最大で１・62％、大型店で１・18％手数料が低くなる。７年度以降の市の負担額は年間２５００万円の予測となる。このような内容を市民に周知してほしい。

要望

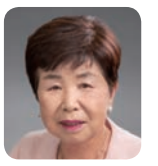
個店と大型店の区別をつけてのKPI（評価指標）の設定

OMOTANコインの利用状況や分析結果をホームページなどで可能な限り公開

R10年度以降の事業継続の判断基準の設定

分かりやすい事業内容の周知を

広く愛される新たな はだのブランドの構築を



志政会　風間　正子

一　支え合う地域づくりについて

問　高齢者が気軽に集える居場所づくりが大切と考えるが、社会福祉協議会などと連携した取り組みはどのようか。

答　地域高齢者支援センターと連携し、生きがい型デイサービスへの参加を促すなど、通いの場につなげる支援を行っている。また、社会福祉協議会などとの連携も密にし、多様な通いの場の充実を図っていく。

高齢者が気軽に集える居場所づくりを

二　食品ロスの削減について

問　給食の残渣（ざんさ）を減らすには、さらなる食育や食品ロスの意識を高めることが必要と思うが、今後の取り組みはどのようか。

答　令和５年度に引き続き６年度は「Ｇｏ　Ｆｕｎ（ご飯）　Ｗｅｅｋ！」を２校で実施することとしており、生徒の自主性による残渣の軽減に取り組んでいく。

要望　「Ｇｏ　Ｆｕｎ（ご飯）Ｗｅｅｋ！」の取り組みは中学校全校で実施し、その取り組みを通して、子どもたちや先生が残渣の量を知ることで、残渣の軽減につなげてほしい。

三　市の魅力向上の取組について

問　はだのブランド事業の見直しを図っているとのことだが、見直しの視点はどのようか。

答　丹沢の杜、名水のまちを新たなコンセプトにし、外部の専門家が客観性や独立性を担保した中で、消費者目線で審査する体制の構築を考えている。

市民の安全・安心を守るため さらなる警察との連携充実を

志政会　相原　學

一　地域の安全対策について

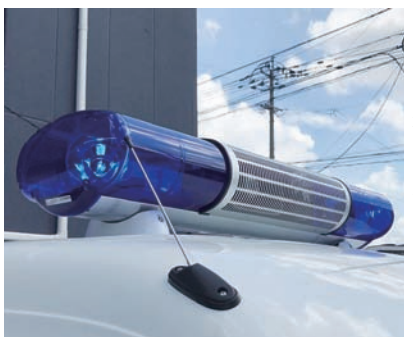
問　最近、テレビのニュースや新聞報道で、強盗事件に闇バイトが関与するなど、市民の安全・安心な生活を脅かす憂慮すべき事態が日々発生しているが、本市における犯罪の未然防止のための取り組みはどのようか。

答　本市では、主に３点取り組んでいる。１点目は、警察官ＯＢである地域防犯専門員３人による青色回転灯装備車両（青パト）での市内一円のパトロールの実施。２点目は、自治会などからの依頼による防犯講話の実施。３点目は、防犯カメラの設置により、犯罪の発生抑止や市民の体感治安の向上に役立てている。

問　秦野警察署との具体的な連携内容はどのようか。

答　秦野警察署とは、主に市民への啓発活動を中心に連携している。具体的には、本市のイベントなどで、交通防犯パレードや秋の地域安全運動、イオン秦野ショッピングセンターでの年末年始特別警戒地域安全運動を行っている。特に、大学生が知らないうちに犯罪に加担しないよう、東海大学の学生用ポータルサイトなどを活用した啓発も行っている。

要望　防犯講話は、ニーズを確認しながら、特殊詐欺の手口や詳細な犯罪状況なども話してほしい。また、青パトの巡回も効果的だが、抑止力を高めるため、時折パトカーによる巡回も行ってほしい。



市民の安全・安心のための取り組みを

「雇用の受け皿としての製造業誘致」は 時代に逆行している

無所属　伊藤　大輔

一　労働供給制約社会について

問　生産年齢人口の減少に対する本市の具体的な施策は何か。

答　転入者を増加させるためのはだの丹沢ライフ応援事業、雇用の創出を図るための西大竹地区、戸川地区の産業拠点の整備がある。

問　１５５世帯の住宅購入者が、本市を転入先に選んだ理由は何か。

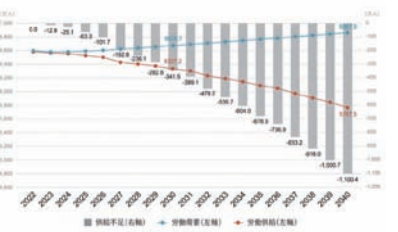
答　①住宅の価格が経済的71世帯②豊かな自然61世帯③静かな自然環境46世帯④親の家に近い46世帯⑤通勤・通学に便利37世帯。

意見　②と③は、ほぼ同内容であるため、本市への転入者は本市の豊かな自然と、安い住宅価格を求めて移住してくる人が多い。

問　転入者の勤務地はどうか。

答　①県内58世帯②東京都36世帯③市内26世帯④その他10世帯。

意見　転入者の80％は市外に勤めている。今、本市は戸川土地区画整理事業（66億円）による企業誘致で新たな雇用を産み出そうとしているが、労働需要が労働供給を上回る労働供給制約（人手不足）社会では、仕事（雇用）はある。製造業を誘致したからと言って、そのことが若者の流失を阻止することにはならない。市内既存製造業の人手不足の状況を悪化させる要因にもなりかねない。また、本市への転入理由を見ても、仕事を求めて移住してくる人は少ない。もっと本市の豊かな自然や、都心から１時間といった強みを生かした街づくりを行うべきだ。



2040年には1,100万人の働き手が不足する

児童・生徒は援助を求めている 児童相談所との連携は

無所属　石川　潤

一　児童・生徒の相談援助について

問　児童虐待の相談を受けてからの対応の流れはどのようか。また、児童相談所との連携はどのようか。

答　家庭相談員や児童心理相談員が内容を聞き取った上で子どもの安全確認を行い、市での対応が難しい場合、児童相談所への送致を検討する。児童相談所は市だけでは解決できないときの後方支援を担っており、専門的な知識が必要な場合に助言などをもらっている。

問　相談支援に係る課題の解決策と今後の在り方はどのようか。

答　支援体制の見直しや相談員の増員を図っていく。また、地域子育て相談機関の設置に向け準備を進めている。

二　市立公園の管理について

問　草刈りの状況はどのようか。

答　公園愛護会、公園アダプト、市が協力して草刈りを行っている。

問　課題と解決策はどのようか。

答　公園愛護会は高齢化で継続が困難という意見があるため、公園アダプトへの移行を周知し、参加しやすい環境づくりに努めている。

三　市道の管理について

問　ガードレールなどの設置に係る課題とその解決策はどのようか。

答　ガードレールは設置する場合、有効幅員が狭くなり、利便性とのバランスが難しい。カーブミラーは要望者の感覚を踏まえ対応することが求められる。丁寧に説明をし、寄り添った対応に努めている。

児童・生徒の援助ができる体制づくりを

市議会議員の期末手当の支給率を引き上げるための条例改正を可決

議提議案第４号　秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正することについて

▼提案理由

市議会議員の期末手当の支給率を引き上げるため、改正するもの。

▼本会議での主な質疑

問　市長などに準じて、期末手当を引き上げるということだが、市長などは職務専念義務がある一方、市議会議員はその義務を負っていない。そのような中、市長などに準じて、期末手当を引き上げる理由はどのようか。

答　市議会議員の期末手当は、地方自治法第２０３条により、条例で定めるもので、社会情勢、近隣自治体とのバランスを考慮して、判断すべきと考える。そのような中、市議会は、市長と同様、市民から選挙された代表機関であり、市長と両輪となり、協働しながら、市民の負託に応える責務を負っていることから、市長などと歩調を合わせて引き上げることが妥当と考える。

問　市議会議員の期末手当を引き上げるに当たり、市議会議員としての成果が求められると思うが、どのように考えるか。

答　通年会期制となった中、各常任委員会において、政策提言に向けた活動を進めており、市民を交えた活動もしているところである。また、災害への対応を含め、各議員は３６５日、24時間、地域において、しっかりと職務に取り組んでいると考える。

▼採決の結果

本会議　原案可決（賛成多数）

議案審議

（議案審議は１面にも掲載）

特別職職員の期末手当の支給率を引き上げるための条例改正を可決

議案第53号　秦野市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正することについて

▼提案理由

一般職職員の期末手当および勤勉手当の支給率の引上げに準じて、市長、副市長および教育長の期末手当の支給率を引き上げるため、改正するもの。

なお、本条例の施行日は、公布の日とし、令和６年12月１日からの適用とするもの。

▼付託委員会

総務常任委員会

▼委員会での主な質疑・要望

問　本改正をする過程で、特別職報酬等審議会において、市長、副市長および教育長の給料水準が、近年の財政状況や他自治体との比較ならびに社会経済情勢などを踏まえ、妥当であるか、建議を求めるために、諮問したと聞いたが、その回答はどのようか。

答　給料月額の比較だけではなく、県内各市の期末手当や地域手当の支給率、また地域手当制度の見直しや本市における財政状況など、総合的に判断した中で、現行の額を据え置くことが適当との建議であった。

要望　特別職報酬等審議会において、本市の主な施策の進捗状況を説明し、特別職の期末手当も踏まえて審議されているとのことだが、他市においては、特別職が業務や成果について自己評価を行うところもあるため、参考としてほしい。

▼採決の結果

委員会　原案可決（賛成多数）

本会議　原案可決（賛成多数）

本会議はインターネットで生＆録画中継しています！

市民に議会の様子を広くお伝えするため、本会議映像のインターネット配信を行っています。

議場の様子をそのままお伝えする「生中継」と、24時間いつでも視聴できる「録画中継」の２種類です。スマートフォンやタブレット端末からも視聴することができます。

第10回 議会報告会を開催しました！

何で開催するの？

市議会の基本理念などを定めた「**議会基本条例**」では、議会の活動原則として、「議会報告会の開催又は広報を行うことにより、活動の内容を報告又は説明すること」と規定されています。

これに基づき、議会活性化、議会改革への取り組みとして市民と情報の共有を図るとともに、**開かれた議会**を推進するため、議会活動や市政に対する意見などを聴く機会として議会報告会を開催しています。

議会

議会が市民に信頼され、市民のためのまちづくりを実現するために…
市民に開かれた議会を目指して…

意見交換（議会報告会）　市民　情報共有（ホームページ・議会だより）

根拠：議会基本条例（平成23年6月制定）
※第３条（議会の活動原則）
（2）議会報告会の開催又は広報を行うことにより、活動の内容を報告又は説明すること。

何を報告するの？

議会報告会では、秦野市議会の概要や主な取り組みを説明しています。また、開かれた議会を推進するための取り組みとして実施している「出前講座」や「夏休み子ども議場見学会」をはじめとした広報広聴活動も紹介し、「もっとこうしてほしい」、「こんな取り組みをしたらどうか？」といった参加者の率直な意見を伺う時間も設けています。

今回は、総務・文教福祉・環境都市の３つの常任委員会の政策提言に関連のある団体との意見交換に併せて、11月から12月に掛けて議会報告会を行いましたので、当日の様子やいただいた主な意見を紹介します。

当日の様子

参加者の方々からこんなご意見をいただきました

- **議会活動の様子が分かり**、大変良かったです。
- 議会が**各団体に意見を聞き、課題解決に向けて市長に対して提言する努力をされている**ことが良く分かりました。
- **より多くの方が議会報告会に参加できるよう**検討していただきたいです。
- **マンガなどでのＰＲはとても身近に感じる**ことができて良いと思います。

- 積極的な取り組みを伺うことができました。**議会、議員から子どもたちへの働きかけは、とても良い**と感じています。
- **議会だよりの全戸配布**の話が出ましたが、**ぜひ検討いただければ**と思います。
- **議会のこれまでの成果を高校生にも**分かる形で**レクチャー**できれば、**行政への関心も高まる**のではないかと思いました。**将来的に投票率のアップにもつながれば**いいなと思います。

併せて…政策提言の意見交換も実施しました！

【これまでの活動状況】

総務、文教福祉、環境都市の３つの常任委員会に分かれて、テーマの選定からはじまり、委員間での協議や先進地の事例を視察する所管事務調査など、毎月、活動を行ってきました。

これまで調査研究を続けてきた政策提言の内容を基に、それぞれの常任委員会が関係団体と意見交換会を実施しましたので、その内容をお知らせします。

今後は、いただいた意見を参考にしながら、令和７年６月の提言書提出を目標にさらなる協議を進めていきます。

総務常任委員会（意見交換内容：デジタル等の新技術の活用や地域における防災力の強化について）

（民生委員・児童委員、防災アドバイザー、自主防災会との意見交換の様子）

現場の最前線にいる皆さまの防災意識の高さと地域を守る熱い思いを感じることができて、大変有意義な意見交換となりました。

誰ひとり取り残さないインクルーシブ防災の実現に向け、今回の意見交換の内容を取り入れた具体的かつ実現性の高い提言にしていきたいと思います。

中村（英）委員長

文教福祉常任委員会（意見交換内容：多世代交流の拠点づくりについて、既存施設を活用した拠点づくりについて）

福森 委員長

拠点づくりは、機能だけに注視するのではなく、併せて利用しやすい環境をつくることが重要と気づかされました。

当日は他にもさまざまなアイデアや課題解決策をいただきましたので、今後の活動の参考とし、政策提言へつなげていきたいと思います。

（学校運営協議会委員との意見交換の様子）

環境都市常任委員会（意見交換内容：人手不足の状況下における持続可能な地域経済の活性化について）

（西湘地域連合、秦野商工会議所、秦野市農業協同組合との意見交換の様子）

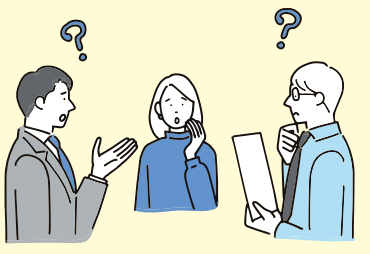
たばこ祭などの市内イベント時の企業ＰＲや農業分野におけるＤＸの可能性など、それぞれの立場から現場に密着した建設的で前向きな意見・要望を数多く御提示いただき、新たな気づきや発見に繋げることができました。いただいた提言を最大限生かし、よりハイレベルな政策提言にしていきたいと思います。

大野 委員長

議会の話、出前します

議会のことを聞いてみたいけど…

市役所に行かないとダメかな？
議会って何をやっているところ？
議員の仕事ってどんな仕事？



市民の皆さまの疑問にお答えするため、出前講座を実施しています。
自治会やPTAの研修会、職場やサークルの勉強会などを開催するときに、ぜひ、お声がけください。

◆対象は、市内在住・在勤・在学の団体・グループです。
◆時間は、午前９時から午後９時まで可能です。
◆問い合わせは、議事政策課（☎82-9652）まで。
◆申し込みは、申込用紙に必要事項を記入し、メール・FAX・郵送で提出。

◀申込用紙はこちらから

▶秦野曽屋高等学校での出前講座の様子

議会だよりの見直しを進めています。

市民の皆さまにとって、
・読みやすい議会だより
・議会の活動や内容を理解してもらえる議会だより
を目指して、記事の内容や掲載方法の検討を進めていますので、御意見をお寄せください。

読みやすい議会だよりに向けて
（議会報編集委員会での協議の様子）

御意見募集中

＜第４回（12月）定例月会議の審議結果一覧表＞

○：賛成　●：反対　退：退席

議案などの資料は、秦野市議会ホームページでご覧いただけます。詳しくはこちらから

区分	議案等番号	議案等名	採決の結果	志政会							創和会・市民クラブ							ともにつくる秦野				公明党			無所属		
				小菅基司	高橋文雄	風間正子	川口薫	今井実	相原學	中村知也	福森真司	横溝泰世	阿蘇佳一	大野祐司	八尋伸二	小山田良弘	大塚毅	古木勝久	原聡	桑原昌之	田中めぐみ	中村英仁	横山むらさき	間地薫	伊藤大輔	吉村慶一	石川潤
市長提出議案	第51号	秦野市刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長（※採決には加わりません）	○	○	○	○
	第52号	秦野市職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第53号	秦野市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正することについて（５面）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	●	●	●	●	○		○	●	○	●
	第54号	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第55号	指定管理者の指定について（１面）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●
	第56号	市道の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第57号	市道の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第58号	市道の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第59号	令和６年度秦野市一般会計補正予算（第７号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	●	○	○
	第60号	令和６年度秦野市一般会計補正予算（第８号）を定めることについて（1面）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●
	第61号	令和６年度秦野市水道事業会計補正予算（第１号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第62号	令和６年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第１号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第63号	令和６年度秦野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第64号	令和６年度秦野市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	第65号	令和６年度秦野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
陳情	令６陳情第５号	秦野市議会議員選挙における投票日の変更を求める陳情	趣旨了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○		○	●	●	●
	令６陳情第10号	子宮頸がん予防ワクチン（ＨＰＶワクチン）接種後の健康被害救済についての陳情	取り下げ承認																								
	令６陳情第13号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情	趣旨了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長（※採決には加わりません）	○	○	○	○
	令６陳情第14号	介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める陳情	趣旨了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	○
	令６陳情第15号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情	趣旨了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	○
議員提出議案	議提議案第４号	秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正することについて（５面）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	●	●	●	●	○		○	●	●	●
	議提議案第５号	秦野市議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
報告案件（６件）		専決処分の報告について（物損に係る損害賠償、交通事故に係る損害賠償３件、条例の一部改正、補正予算）																									

＜第3回（12月）臨時会議の審議結果一覧表＞

○：賛成

議案などの資料は、秦野市議会ホームページでご覧いただけます。詳しくはこちらから

区分	議案番号	議案名	採決の結果	志政会							創和会・市民クラブ							ともにつくる秦野				公明党			無所属		
				小菅基司	高橋文雄	風間正子	川口薫	今井実	相原學	中村知也	福森真司	横溝泰世	阿蘇佳一	大野祐司	八尋伸二	小山田良弘	大塚毅	古木勝久	原聡	桑原昌之	田中めぐみ	中村英仁	横山むらさき	間地薫	伊藤大輔	吉村慶一	石川潤
市長提出議案	第66号	令和６年度秦野市一般会計補正予算（第９号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○

広告

土地・建物・アパート、売買・仲介・賃貸
不動産のことなら

神奈川県知事(9)第15643号
川中不動産株式会社
神奈川県秦野市南矢名２丁目７番20号
TEL 0463(77)6666 FAX 0463(77)6252

広告

毎日使う生活パイプ・パイプ１１０番
高速ジェット噴射清掃法使用
貯水槽清掃・浄化槽管理　その他
清掃に関すること何でも引き受けます

秦野市上下水道指定工事店
(有) 北原クリーンサービス
戸川１３１－２
☎ 75−0811
FAX 75−0996

第１回（３月）定例月会議日程

とき	開議時間	会議名	内容
2月21日（金）	午前9時	本会議	開議・提案説明
2月27日（木）			代表質問
2月28日（金）			代表質問
3月3日（月）			議案審議
3月4日（火）	午前9時	予算決算常任委員会	総務分科会（令和7年度予算）
3月5日（水）			文教福祉分科会（令和7年度予算）
3月6日（木）			環境都市分科会（令和7年度予算）
3月7日（金）	午前9時30分	常任委員会	総務、予算決算（総務分科会）
3月10日（月）			文教福祉、予算決算（文教福祉分科会）
3月11日（火）			環境都市、予算決算（環境都市分科会）
3月12日（水）	午後1時30分	委員会	議会運営委員会
3月13日（木）	午前9時	本会議	一般質問
3月14日（金）			一般質問
3月18日（火）			一般質問
3月19日（水）	予備日		
3月24日（月）	午前9時45分	常任委員会	予算決算（座長報告・採決）
		本会議	委員長報告・議案審議・散会

※会議の日程、時刻は変更することがあります。

◆次回の議会だより（令和７年５月中旬の日曜日発行予定）は、第１回（３月）定例月会議の概要などをお知らせします。

広告募集中　掲載を希望される際は議事政策課（☎0463-82-9652）までご連絡下さい。（１枠20,000円（縦4.7㎝×横10.5㎝））